

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)志木II計画	階数	地上6階
建設地	埼玉県朝霞市三原三丁目1520番-1、-13、1521番-9	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	170人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年4月 予定	評価の実施日	2020年9月30日
敷地面積	1,205㎡	作成者	ファーストコーポレーション株式会社 一級建築士事務所 藤倉 正巳
建築面積	676㎡	確認日	2020年9月30日
延床面積	2,799㎡	確認者	ファーストコーポレーション株式会社 一級建築士事務所 藤倉 正巳



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Qのスコア = 3.0**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

#### LR 環境負荷低減性

**LRのスコア = 3.1**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	周辺建物は低層建物が多く目立つため、計画建物を6層に抑えスカイラインを揃えるように設計	その他 特になし
Q1 室内環境	専有住戸部分について、複層ガラスと二重サッシを採用する F☆☆☆☆の建材を採用している 断熱等性能等級4取得予定	Q2 サービス性能 劣化対策等級3を取得予定
LR1 エネルギー	潜熱回収型ガス給湯器を採用している 共用部の照明を全てLED照明としている	Q3 室外環境(敷地内) 標準的な対策をしている
	LR2 資源・マテリアル LGS下地を採用することにより、躯体と仕上げ材が用意に分別可能	LR3 敷地外環境 標準的な対策をしている

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**(仮称)志木II計画**

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>3.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>							<b>0.40</b>		-	<b>3.4</b>
<b>1 音環境</b>						<b>3.0</b>	0.15	<b>3.3</b>	1.00	<b>3.2</b>
<b>1.1 室内騒音レベル</b>						<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	
<b>1.2 遮音</b>						<b>3.0</b>	0.50	<b>3.6</b>	0.50	
1	開口部遮音性能	専用部:T-2以上				3.0	1.00	5.0	0.30	
2	界壁遮音性能					-	-	3.0	0.30	
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	3.0	0.20	
4	界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	3.0	0.20	
<b>1.3 吸音</b>						-	-	-	-	
<b>2 温熱環境</b>						<b>2.6</b>	0.35	<b>4.0</b>	1.00	<b>3.7</b>
<b>2.1 室温制御</b>						<b>3.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	1.00	
1	室温					3.0	0.63	-	-	
2	外皮性能	断熱等性能等級4取得予定				3.0	0.38	4.0	1.00	
3	ゾーン別制御性					-	-	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>						<b>1.0</b>	0.20	-	-	
<b>2.3 空調方式</b>						<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3 光・視環境</b>						<b>2.3</b>	0.25	<b>3.2</b>	1.00	<b>3.0</b>
<b>3.1 昼光利用</b>						<b>1.8</b>	0.30	<b>2.4</b>	0.50	
1	昼光率					1.0	0.60	3.0	0.50	
2	方位別開口					-	-	1.0	0.30	
3	昼光利用設備					3.0	0.40	3.0	0.20	
<b>3.2 グレア対策</b>						<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50	
1	昼光制御	レースカーテンとバルコニーで昼光制御				2.0	1.00	4.0	1.00	
<b>3.3 照度</b>						<b>3.0</b>	0.15	-	-	
<b>3.4 照明制御</b>						<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>4 空気質環境</b>						<b>3.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00	<b>3.6</b>
<b>4.1 発生源対策</b>						<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63	
1	化学汚染物質	ほぼ全面的に☆☆☆☆の建材を採用				4.0	1.00	4.0	1.00	
<b>4.2 換気</b>						<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38	
1	換気量					3.0	0.50	3.0	0.33	
2	自然換気性能					-	-	3.0	0.33	
3	取り入れ外気への配慮					3.0	0.50	3.0	0.33	
<b>4.3 運用管理</b>						-	-	-	-	
1	CO <sub>2</sub> の監視					-	-	-	-	
2	喫煙の制御					-	-	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>						-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>						<b>3.3</b>	0.40	<b>2.8</b>	1.00	<b>2.8</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>						<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.60	
1	広さ・収納性					-	-	-	-	
2	高度情報通信設備対応					-	-	3.0	1.00	
3	バリアフリー計画					3.0	1.00	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>						<b>4.0</b>	0.30	<b>2.5</b>	0.40	
1	広さ感・景観	GH2500				-	-	4.0	0.50	
2	リフレッシュスペース					-	-	-	-	
3	内装計画	内装計画と照明を一体として計画している等 計3項目				4.0	1.00	1.0	0.50	
<b>1.3 維持管理</b>						<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1	維持管理に配慮した設計					3.0	0.50	-	-	
2	維持管理用機能の確保					3.0	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>						<b>3.1</b>	0.30	-	-	<b>3.1</b>
<b>2.1 耐震・免震・制震・制振</b>						<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)					3.0	0.80	-	-	
2	免震・制震・制振性能					3.0	0.20	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>						<b>3.3</b>	0.30	-	-	
1	躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3を取得予定				5.0	0.20	-	-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔					2.0	0.20	-	-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔					2.0	0.10	-	-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.10	-	-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	給水(水道用ポリエチレン管):B 汚水排水(硬質塩化ビニル管):B 通気(硬質塩化ビニル管):A Eは不使用				5.0	0.20	-	-	

	6	主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-	
2.4		信頼性		3.2	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	通信手段の多様化を図る等 計3項目	4.0	0.20	-	-	
3		対応性・更新性		3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1		空間のゆとり				3.2	0.50	
	1	階高のゆとり	住宅部分:2.96m(最低階高)			4.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ				2.0	0.40	
3.2		荷重のゆとり				3.0	0.50	
3.3		設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3		室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.5
1		生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2		まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3		地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR		建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.1
LR1		エネルギー		-	0.40	-	-	3.3
1		建物外皮の熱負荷抑制	断熱等性能等級4取得予定	4.0	0.20	-	-	4.0
2		自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3		設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.97	3.3	0.50	-	-	3.3
4		効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価							
	4.1	モニタリング						
	4.2	運用管理体制						
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2		資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.8
1		水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1	節水		3.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2		非再生性資源の使用量削減		2.6	0.60	-	-	2.6
	2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	LGS下地を採用することにより、躯体と仕上げ材が容易に分別可能	4.0	0.20	-	-	
3		汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	ノンフロン断熱材のみ採用	4.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3		敷地外環境		-	0.30	-	-	3.2
1		地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出84%	3.6	0.33	-	-	3.6
2		地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3		周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	1.00	-	-	

	2	振動	-	-	-	-
	3	悪臭	-	-	-	-
	<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-
	1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-
	2	砂塵の抑制	-	-	-	-
	3	日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-
	<b>3.3 光害の抑制</b>		<b>3.0</b>	0.20	-	-
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70	-	-
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)志木Ⅱ計画	BEE	1.1	BEEランク	★★★
------	-----------	-----	-----	--------	-----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO <sub>2</sub> の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.6	+	2.6	=	6.2 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO<sub>2</sub>の削減</b>		スコア平均	3.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.6
ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率84%			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	2.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
標準的な配慮を行っている			

 :入力欄